

京林大だより

No.67



絵：卒業生 熊走君

入学式を挙行 ～第12期生が新たな仲間～

森林林業科の入学式を令和5年4月10日（月）に挙行了しました。4年ぶりに多くの御来賓にお越しいただき、直接お祝いと激励のお言葉をいただきました。

第12期となる今年は、京都府内だけでなく、滋賀県や兵庫県、愛知県、山口県、愛媛県から11名の新生を迎えました。

柴田校長から、「臆することなく新しい環境に飛び込み、かけがえのない人たちと出会い、林大の二年間で大きく成長してください。」との激励を受けた新生は、「それぞれの目標に向けて努力していきたい」と誓いました。

また、京都府林業振興会様並びに京都府森林組合連合会様から新生全員に、ナタ、ノコギリ、剪定鋏を寄付していただきました。これからの京林大での実習では欠かせないもので、大切に使用させていただきます。



新生の記念撮影



新生宣誓

これから二年間、地域の方々や林業関係者の皆様には大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

林大名物！！日本海ウォーキングを開催

林大名物の日本海ウォーキング。4年ぶりに1泊2日の約50kmの行程を4班に分かれて歩きました。

大江山連峰の赤石ヶ岳、千丈ヶ嶽などを縦走し、かや山の家で宿泊。夜はとてものにぎやかで、1、2年生ともに交流を深めることができました。2日目は、フラフラになりながらも、天橋立まで歩くことができ、1年生にも大きな自信につながった行事になりました。



← 鳩ヶ峰にて 天橋立にて

『救急救命』講習を実施しました

林業の現場は、救急隊が到達するまでに時間を要することが多いため、急病やケガなどの緊急事態に備えて、救急隊が到着するまでの正しい救急法を知っておく必要があります。

本校では、入学後すぐに「赤十字救急法救急員養成講習」を実施しており、今年度は4月18日から20日までの3日間、日本赤十字社京都府支部の指導員を講師に招き開催しました。

指導員から傷病者に対する配慮、三角巾を用いた止血の方法や傷の手当ての方法などの技術指導を受け、学生同士、練習を重ねていました。

最終日の実技試験に合格した者のみ、後日「赤十字救急法救急員」の認定を受けることができます。



講習の様子

今月の授業参観

『林大入門』 林業作業の安全

林大入門では新入生の講義・実習の出発点として、本格的な講義前に林業用語や基本事項を学びます。

林業は自然を対象とした様々な条件下で作業を行います。新入生の多くはそのことを知りません。そこで本講義では安全の第一歩は服装からを合言葉に、何故指定の服・履物や保護具をつけなければならないのかをきっちりと説明します。理由を理解した上で服装を整え野外実習を行っていくことが、事故や怪我の防止につながると考えています。

新入生に贈っていただいたナタ、ノコギリ、剪定鋏を本講義で学生に配り、記名、腰ひもを装着し、すぐに使えるように準備を整えました。



府林業振興会・府森林組合連合会から新入生に寄贈された品々



校長室より

第12期生11名が入学しました！

校長 柴田 繁

今年のサクラは、東京で3月14日に開花前線がスタートし、3月22日には東京で全国最初の満開が観測されるなど、いずれも開花日の最早日を5日前後更新する記録的な早さでした。林業大学校のサクラも3月末には満開となり、「サクラが奇麗なので、少し見せてください」と、校内を散策される方もおられ、地元、京丹波町の皆様にも楽しんでいただくことができ、とてもうれしく思いました。

さて、令和5年度の入学式は、4月10日(月)に開催しました。例年、満開のサクラを背景に記念写真を撮りますが、今年の入学式は、校門近くのサクラは、散り際の名残のサクラとして、新入生11名を歓迎してくれていました。

林業大学校の樹木実習では、1年間で約200種類の樹木の名前や特徴を学びます。サクラもその一つで、京林大生にとって、最も馴染みの

深い樹木の一つです。

全国で林業大学校と呼ばれる認定研修機関は、令和5年4月現在で25校ありますが、数ある学校の中から京林大を選んで入学してくれた11名。サクラを背景に記念撮影をした時に抱いていた夢と志を持ち続けて、新しい環境でかけがえのない人たちと出会い、その中で自己発見をして、林業技術者としてはもちろん、人として成長してくれることを心から期待しています。

地域の皆様には、大変お世話になりますが、よろしくお祈りします。頑張れ第12期生。

